

生きものは、もともと島にいる生きものも、もとから島につれてきた生きものも、どちらも大切にしないといけません。もう生きものを飼っている人、これから食べたいという人は、ちゃんと生きもののことを考えてあげてくださいね。

子供のときはかわいくても
大人になると危なくなるかも知れないよ



キミのお家で飼えないくらい
大きくなるかもしれないよ



キミより長生きする
生きものもいるかも知れないよ



絶対に逃がさないでください。
もとからまた生きものについて
わからないことがあれば、
お問い合わせください

環境省 那覇自然環境事務所

〒900-0027

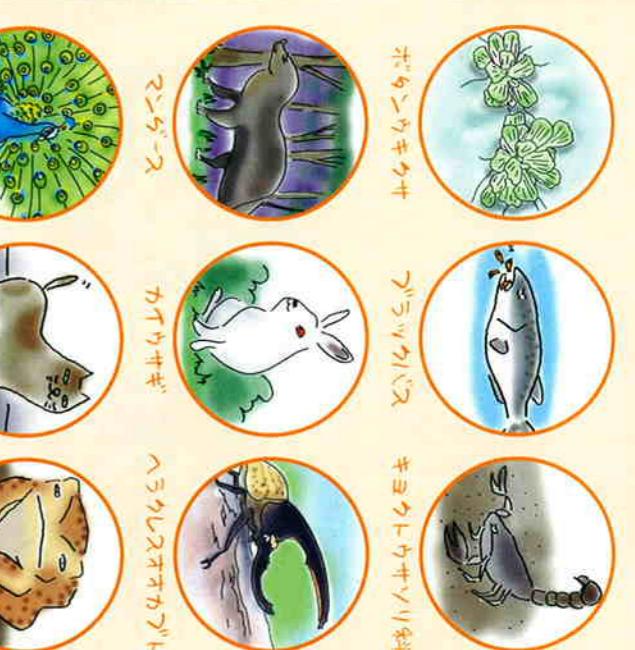
沖縄県那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル4階

電話: 098-858-5824 FAX: 098-858-5825

2006年3月発行

2,100

PRINTED WITH
SOY INK
環境にやさしい大豆インク使用しています



そとから 島にきた 生きもの



かんきょうしょう



ハモリ

ハモリ

ハモリ



ハモリ

ハモリ

ハモリ



ハモリ

ハモリ

ハモリ



ハモリ

ハモリ

ハモリ



ハモリ

ハモリ

ハモリ



ハモリ

ハモリ

ハモリ



ハモリ

ハモリ

ハモリ



ハモリ

ハモリ

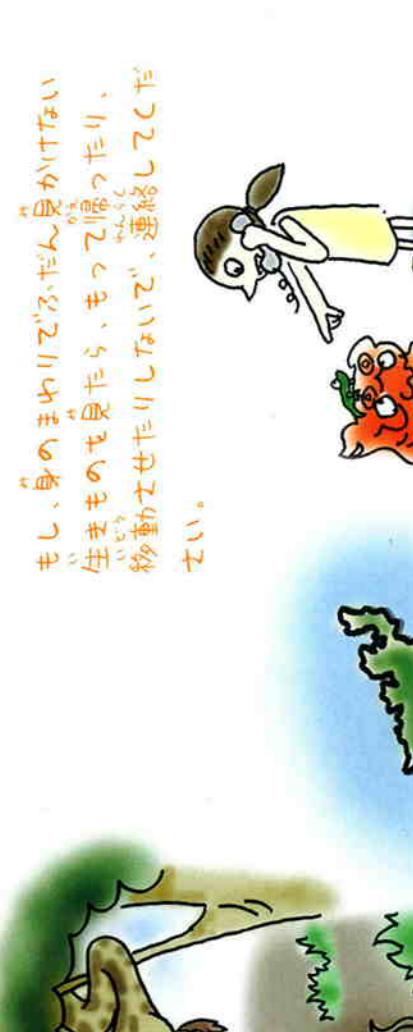
ハモリ



ハモリ

ハモリ

ハモリ



ハモリ

ハモリ

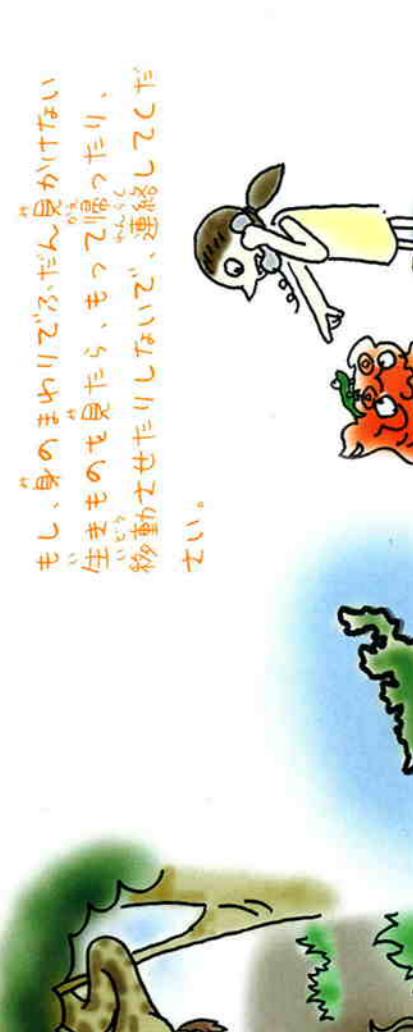
ハモリ



ハモリ

ハモリ

ハモリ



ハモリ

ハモリ

ハモリ



ハモリ

ハモリ

ハモリ



ハモリ

ハモリ

ハモリ



ハモリ

ハモリ

ハモリ



ハモリ

ハモリ

ハモリ



ハモリ

ハモリ

ハモリ



ハモリ

ハモリ

ハモリ



ハモリ

ハモリ

ハモリ



ハモリ

ハモリ

ハモリ



ハモリ

ハモリ

ハモリ



ハモリ

ハモリ

ハモリ



ハモリ

ハモリ

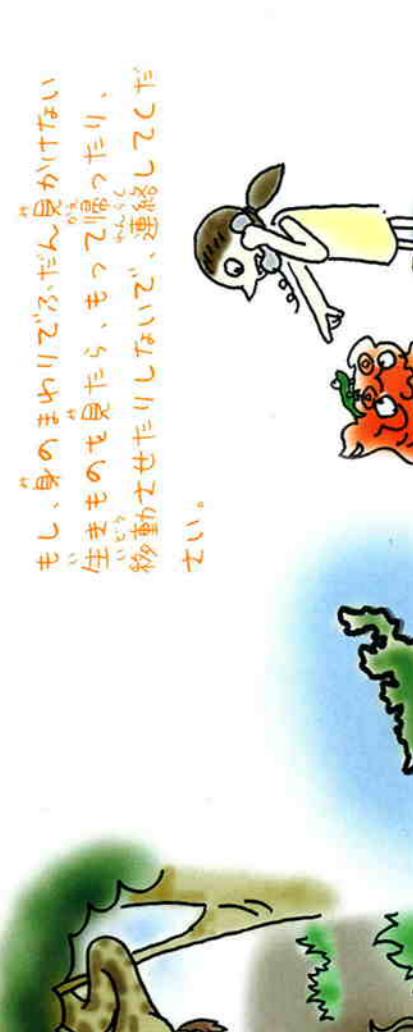
ハモリ



ハモリ

ハモリ

ハモリ



ハモリ

ハモリ

ハモリ



ハモリ

ハモリ

ハモリ



ハモリ

ハモリ

ハモリ



ハモリ

ハモリ

ハモリ



ハモリ

ハモリ

ハモリ



ハモリ

ハモリ

ハモリ



ハモリ

ハモリ

ハモリ



ハモリ

ハモリ

ハモリ



ハモリ

ハモリ

ハモリ



ハモリ

ハモリ

ハモリ



ハモリ

ハモリ

ハモリ



外来生物法とは

正式には「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」といい、特定の外来生物による生態系、人の生命・身体、農林水産業への被害を防止することを目的としています。

禁止次の行為が原則禁止されます。



写真で見る特定外来生物

予防三原則

**入
れ
な
い**

黒影響を及ぼすかもしれない外来生物をむやみに日本に入れない。

**捨
て
な
い**

銅っている外来生物を野外に捨てない。

**拡
げ
な
い**

野外にすでにいる外来生物は他の地域に拡げない。

特定外来生物リスト	
鳥類	フクロギツネ、ハリネズミ属、タイワンザル、カラクザル、アカゲザル、ヌートリア、クリハラリス(タイワンリス)、タリクリモモンガ(エゾモモンガを除く)、トウブハイロリス、キタリス(エゾリスを除く)、マスクラット、アライグマ、カニクアイアライグマ、アメリカミンク、ラライグマ、カニクアイシジカ属、シカ属(ホンシュウジカ、ツシマジカ、ケラマヤクシカ、エゾシカを除く)、ダマシカ属、シフン、キヨン
哺乳類	カビチョウ、カオシロカビチョウ、カオクロカビチョウ、ソウシチョウ
爬虫類	カミツキガメ、グリーンアノール、ブラウンアノール、ミナミオオガシラ、タイワニスジオ、タイワンハラブ
両生類	オオニキガエル、キューバズツキガエル(キューバアマガエル)、コキコヤスガエル、ウシガエル、シロアゴガエル
魚類	チャネルキャットフィッシュ、ノーザンパイク、マスクイーパイク、カダヤシ、ブルーギル、コクチバス、オオクチバス、ストライプバス、ホワイトバス、ヨーロピアンパイクバーチ、ケッギョ、コウライケツギョ
甲殻類	Atrax属、Hadronyche属、Loxosceles reclusa、L. laeta、L. gaucho、セアガコケグモ、ハイイロゴケグモ、キヨクトウサンボシコケグモ、クロコケグモ、キヨクトウサンボシコケグモ、ウチダサリガニ、ラステイクレイフィッシュ
昆蟲類	テナガコガネ属(ヤンバルテナガコガネを除く)、ヒニアリ、アカカミアリ、アルゼンチンアリ、コカミアリ
軟體動物等	カワヒバリガイ属、クワッガガイ、カワホトトギスガイ、ヤマヒタチオビ(オカヒタチオビ)、ニューギニア・アカリタリクウスマシ
植物	オオキンケイギク、ミズヒマワリ、オオハンゴンソウ、ナルトサワギク、オオカワチシャ、ナガエツツノケイトウ、フラジルチドメクサ、アレチウリ、オオフサモ(パロットフェザー)、スバルティナ・アンクリー、ボタンウキクサ(ウォーターレタス)、アソラ・クリスターク

逃げ出したり捨てられたりして野生化し、分布が拡大しています。農作物被害や捕食、競合による在来生物への影響が危惧されます。

キヨクトウサソリの仲間

人気が高まり、ペットとして導入されたが、逃げ出したり捨てられたりして野生化し、分布が拡大しています。農作物被害や捕食、競合による在来生物への影響が危惧されます。

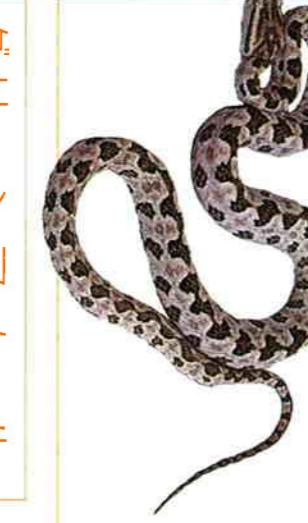
カダヤシ

「蚊絶やし」の名が示すように、ボウフラ退治のために世界各地に放流されました。メダカとの競合が問題となっていて、放流は絶対にいけません。



タイワンハブ

日本国内で外国産の毒ヘビが定着した最初の例となります。庭や道路などの生活域で目撃されているので、咬傷などの被害に気をつけましょう。



グリーンアノール

アメリカ合衆国東南部のバハマ諸島などが原産で、物資などにまぎれたり、ペットとして飼育され、逃走などで沖縄南部を中心に繁殖しています。

カニクイザル

二ホンザルと似ていますが、40cmほどの長い尾をもっているのが特徴です。在来生物の捕食、農作物被害が危ぶまれています。



マンショウハリネズミ

ペットとして飼育されていたものが、逃げ出したり捨てられたりして野生化し、農作物への被害やジネズミなどの競合が起こるのではないかと危惧されています。



オオヒキガエル

1964年、沖縄島で発見以来、ほぼ全域に広まり、定着しています。八重山諸島や奄美諸島には侵入していないので、拡散を防止しなければいけません。



シロアゴガエル

1964年、沖縄島で発見以来、ほぼ全域に広まり、定着しています。八重山諸島や奄美諸島には侵入していないので、拡散を防止しなければいけません。



アライグマ

人気が高まり、ペットとして導入されたが、逃げ出したり捨てられたりして野生化し、分布が拡大しています。農作物被害や捕食、競合による在来生物への影響が危惧されます。



環境省那覇自然環境事務所
外来生物に関するお問い合わせは、

Tel. 098-858-5824 Fax. 098-858-5825

<http://www.env.go.jp/nature/intro/index.html>